



第 62 回日本肝臓学会総会

協賛趣意書

会期：2026 年 6 月 18 日（木）～19 日（金）

会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター、ホテル日航新潟

会長：寺井 崇二

（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 消化器内科学分野 教授）



Niigata Liver Symphony

6.17_{wed.}→6.20_{sat.}, 2026 Toki Messe & Hotel Nikko Niigata

第62回 日本肝臓学会総会 《6.18～6.19》

第52回 日本急性肝不全研究会 《6.17》

第12回 肝臓と糖尿病・代謝研究会 《6.20》

ご挨拶

「光：Enlightenment — 一燈照隅」「ともに治し、希望をつむぎ、未来を照らす」

第 62 回日本肝臓学会総会の会長を拝命いたしました、新潟大学の寺井崇二でございます。

このたび、このような栄えある機会を賜りましたことを、誠に光栄に存じますとともに、心より御礼申し上げます。私自身はもとより、教室員ならびに同門会一同、本総会の成功に向け、全力を尽くしてまいりる所存でございます。

本総会のテーマは、「光：Enlightenment — 一燈照隅」といたしました。

「ともに治し、希望をつむぎ、未来を照らす」ことを理念に掲げ、肝疾患に苦しむ患者さんの命を救うために、科学・医学・医療、そして人の力を有機的に結集し、真に意義ある医療の未来を皆様と共に描いてまいりたいと存じます。これまでの医療は「治す」ことを主眼としてまいりましたが、今後は「発症させない」「進行させない」にとどまらず、「人生の質と意味を支える」ことがより一層求められる時代となっております。本総会が、こうした新たな医療の在り方を模索し、深化させる契機となり、未来に向けた“希望の光”を灯す場となることを願ってやみません。

本総会では、国内外より多くの卓越したご講演者をお迎えし、幅広く多彩なプログラムを展開いたします。さらに、会期の前後には「第 52 回日本急性肝不全研究会」ならびに「第 12 回肝臓と糖尿病・代謝研究会」も開催され、“Niigata Liver Symphony”として、一体的かつ包括的な学術交流の場を創出いたします。

初夏の新緑が薫る季節、新潟の地にて、多くの皆様にお目にかかれまことを心より楽しみにしております。

ご参加の皆様との活発なご議論とご交流を通じて、肝臓学の新たな地平が切り拓かれ、未来へとつながる“希望の光”がともに灯されますことを、衷心より祈念申し上げます。

つきましては、昨今の厳しい経済情勢の折、誠に恐縮ではございますが、上記の本総会の趣旨をご理解いただき、是非とも貴社にご支援を賜りたく、ここにお願ひ申し上げる次第でございます。なお、拠出頂きました協賛費用につきまして、各企業様が公表されることについて了承させていただきます。

末筆ではございますが、貴社のさらなるご発展を心より祈念申し上げます。

2025 年 6 月吉日

第 62 回日本肝臓学会総会

会長 寺井 崇二

(新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科分野 教授)



開催概要

1. 会議名称 第 62 回日本肝臓学会総会
2. 会 長 寺井 崇二(新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科分野 教授)
3. 会 期 2026 年 6 月 18 日 (木) ～ 6 月 19 日 (金)
4. 開催形式 ハイブリッド開催 (予定) ※ 後日オンデマンド配信あり
5. 会 場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島 6-1
ホテル日航新潟
〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島 5-1
6. テー マ 光 : Enlightenment — 一燈照隅
7. 参加予定者 約 5,000 名
8. 総会事務局 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 消化器内科分野
〒951-8510 新潟県新潟市中央区旭町通 1 番町 757 番地
9. 運営事務局 株式会社コングレ
〒103-8276 東京都中央区日本橋 3-10-5 オンワードパークビルディング
TEL : 03-3510-3701 FAX : 03-3510-3702
E-mail : jsh62@congre.co.jp

10. 会期/開場時間/会場/開催形態の変更について

やむを得ない事情により学会会期、開場時間、会場、開催形態（オンライン開催等）を変更し、協賛者との調整の上、協賛内容を変更することがあります。この変更を理由としたお申し込みの取消はできません。また、天災地変、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に定める新型インフルエンザ等感染症及び新感染症の流行、その他主催者の責めに帰すことのできない事由により実施要項に影響が生じた場合は、協賛内容及び金額について相談させていただく場合がございます。

11. 情報公開について

日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」および、日本医療機器産業連合会の「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」に基づき、本学会総会の共催・会合等にかかる費用を各社のウェブサイト等で公開することに同意いたします。なお、別途、同意書への署名・押印等は控えさせていただきますので、予めご了承ください。

プログラム（予定）

■ 会長講演

- ・ 寺井 崇二 （新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科分野 教授）

■ 理事長講演

- ・ 竹原 徹郎 先生（一般社団法人 日本肝臓学会 理事長）

■ 特別講演

- ・ 河瀬 直美 様（映画監督）
- ・ 加藤 泰浩 先生（東京大学大学院 工学系 研究科長・工学部長/システム創成学専攻 教授）
「南鳥島海域のレアアース泥・マンガノジュールの開発による日本の再興」
- ・ 澤 芳樹 先生（大阪大学 名誉教授／大阪けいさつ病院 病院長）
「医学のレジリエンス～みらいへの挑戦と貢献～」

■ 招待講演

- ・ 国光 あやの 先生（衆議院議員）
「TBD：日本の医療政策の未来」
- ・ 仁科 博史 先生（SCIENCE TOKYO（東京科学大学） 総合研究院 院長・教授）
「肝臓の形成と恒常性維持機構」

■ 招聘講演（海外）

- ・ Arun Sanyal, MD
(Interim Chair, Division of Gastroenterology, Hepatology, and Nutrition,
Virginia Commonwealth University)
「TBD：MASH」
- ・ Paul Monga, MD
(SVC Endowed Chair in Pathobiology and Therapeutics, Professor of Pharmacology and
Medicine, University of Pittsburgh)
「Cell Molecule Circuits of liver zonation and regeneration」
- ・ SangHoon Ahn, MD
(Professor, Yonsei University College of Medicine)
「A New Era in HBV Treatment: Transcending Control, Striving for Elimination」

- Rajiv Jalan, MD, PhD
(Professor, Institute for Liver and Digestive Health, UCL Medical School)
「New insights into the diagnosis and treatment of acute-on-chronic liver failure」
- Barbara Rehermann, MD
(Chief, Immunology Section, Liver Diseases Branch, NIDDK, NIH, HHS)
「Wild-Derived, Natural Microbiota in Preclinical Models of Inflammation and Metabolism」
- Robert F. Schwabe, MD
(Professor of Medicine, Director, Columbia University Digestive and
Liver Disease Research Center (CU-DLDRC), Columbia University)
「Beyond fibrosis: Hepatic stellate cells control liver size, regeneration, injury and metabolism.」
- Bernd Schnabl, MD
(Professor of Medicine, University of California San Diego)
「Small bugs, big changes: a microbiota-centered view of liver disease.」
- Yasuko Iwakiri, PhD
(Professor of Medicine, Yale University School of Medicine)
「肝臓リンパ循環の制御と病態生理学
(Regulation of Liver Lymphatic Circulation and Pathophysiology)」
- Andrea Palomares-Rodriguez, PhD Student
(Laboratory of Neurobiology: Centro de Investigación Príncipe Felipe)
「Mechanisms leading to cognitive and motor impairment in hyperammonemia and hepatic
encephalopathy. Therapeutic implications」
- Won-Il Jeong, PhD
(Professor, Korean Advanced Institute of Science and Technology (KAIST))
「Unveiling the Impact: Hepatic Glutamate and Its Receptor in Liver Disease」
- Jordi Gracia-Sancho, PhD
(Head, IDIBAPS Biomedical Research Institute / Scientific Director, CIBEREHD
/ Associate Researcher, Inselspital & University of Bern)
「Molecular mechanisms and novel therapeutic opportunities for cirrhotic portal hypertension」

■ 招聘講演（国内）

- ・ 片桐 秀樹 先生（東北大学 SIRIUS（医学イノベーション研究所）所長
／ 東北大学大学院医学系研究科 糖尿病代謝・内分泌内科学分野 教授）
「個体レベルでの代謝制御における肝臓の新たな役割」
- ・ 南野 徹 先生（順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学講座 教授）
「老化は制御可能か？」
- ・ 柳田 素子 先生（京都大学医学研究科 腎臓内科学 教授）
「臓器横断的な三次リンパ組織の形成と組織障害」
- ・ 辻 哲也 先生（慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室 教授）
「肝臓・肝硬変のリハビリテーション：エビデンス&プラクティス」
- ・ 曾根 博仁 先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科学分野 教授）
「日本人ビッグデータからみた脂肪肝と MASLD」
- ・ 梶島 健治 先生（京都大学医学研究科 皮膚科 教授）
「皮膚という臓器の特性を生かした基礎・臨床研究」
- ・ 武部 貴則 先生（東京科学大学 総合研究院 ヒト生物学研究ユニット 教授
／ 大阪大学 大学院医学系研究科 教授）
「急性肝疾患治療へ向けたオルガノイド研究」

■ 特別企画・対談・招聘講演

キャリア支援企画「iPS 細胞が紡ぐ高橋夫妻の医学キャリアの軌跡と後輩へのアドバイス」

- ・ 高橋 淳 先生（京都大学 iPS 細胞研究所 所長）
「iPS 細胞を用いたパーキンソン病治療」
- ・ 高橋 政代 先生（株式会社ビジョンケア 代表取締役社長）
「世界初をやるということ」

■ 特別企画展示

「オルガノイドデジタルツイン－肝臓診療の未来体験－」

- ・ 監修：武部 貴則 先生（東京科学大学 総合研究院 ヒト生物学研究ユニット 教授
／ 大阪大学 大学院医学系研究科 教授）

■ 特別企画（技術展示）

「Echo Elegance：肝胆を奏でる超音波診断－明日を変える1日、響き合う視と技－」

「Virtual Reality（VR）、AI を利用した腹部疾患診療」

■ 光をつなぐ：特別企画【光のリレー：一燈から未来へ】

「Image Competition Liver Vision Online：ひらめきの肝景」

「SNS リレー Niigata Liver Symphony Special Relay: From One Light to Many
— A Symphony of Liver Care and Hope」

■ 光をつなぐ：特別企画【Liver Festa — とともに灯す希望のひとつとき】

「クイズ企画 Maestro of the Mind: AI Quiz Concerto — 知と創造の指揮者を決める脳の協奏曲」

「患者さんと共に歩む未来の肝臓医療」

「若手特別企画 Liver Frontline：若手が切り拓く明日」

■ 光を照らす：特別企画

【光で照らす肝疾患医療の本質—肝炎から肝がんまでの最適戦略を探る】

「難治性肝胆道疾患に一燈を灯す」

「肝疾患の未来を築く

— 再生医療・遺伝子治療・細胞外小胞製剤・移植がつなぐ“治す”から“生きる”への架け橋」

「ウイルス性肝炎の完全制圧に向けて — ワクチン、新規治療薬、そして HBV Cure の最前線」

「肝炎ゼロを実現する — 科学が導く Cure と、未来を支える予防戦略」

「MASLD 時代の革新的肝臓医療 — 代謝クロストークから社会実装・予防戦略へ」

「アルコール医療と肝臓病疾患、そして未来」

「生きる力を支える肝硬変医療 — 光を照らす合併症・発がんを超えた未来戦略」

「静かなる力、肝を癒す — 運動療法と再生の美学」

「変容する肝がん医療 — 病態の可視化から、長期生存と豊かな人生へ」

「肝臓医療と政策の接点：未来を動かす対話」

「Liver Business Lounge：医療と経営の交差点」

「生成 AI を活用した新しい医療の展開」

「“硬さ”と“流れ”のシンフォニー：肝画像診断の新たな地平」

「Innovation Session ～新規治療剤開発へのアプローチ～」

「Endoscopic Harmony：肝疾患診療における可視化と治療の融合」

「肝臓テクニカル IVR ビデオセッション」

「肝硬変ガイドライン・MASLD 診療ガイドライン解説セッション」

「消化器・肝臓の連関と Beyond：臓器・デバイスの協調医療を目指して」

「再生と再建の医療へ — 消化器・肝臓を核とした統合型リハビリテーション戦略」

「症候から迫る肝疾患医療の深化 — 掻痒・出血傾向・リハビリへの展望 —」

「代謝・循環・消化の連関を読み解く ― 糖尿病・心血管・肝疾患の交差点 ―」

「肝機能を守り、命をつなぐ ― 肝臓治療における肝不全・irAE 克服の鍵」

■ 光を結ぶ：ジョイントシンポジウム

「JSH-EASL Joint Symposium」

「日本肝臓学会・日本小児栄養消化器肝臓学会ジョイントセッション」

「FALD 関連 2 学会ジョイントシンポジウム」

「日本肝臓学会・日本病態栄養学会ジョイントセッション」

「日本肝臓学会・日本動脈硬化学会ジョイントセッション」

「メディカルスタッフセッション 患者に寄り添う肝疾患医療 ― 現場からの挑戦と提言」

募集要項

1. 協賛・価格一覧 ※価格は全て消費税（10%）を含む

カテゴリー	価格	備考
1. 共催セミナー		
ランチョンセミナー A	¥7,150,000	500～1,000 席程度
ランチョンセミナー B	¥3,300,000	200～300 席程度
ランチョンセミナー C	¥2,750,000	100～150 席程度
イブニングセミナー B	¥2,750,000	200～500 席程度
イブニングセミナー C	¥2,420,000	100～150 席程度
モーニングセミナー B	¥2,750,000	200～500 席程度
モーニングセミナー C	¥2,420,000	100～150 席程度
スポンサードシンポジウム	¥3,300,000	200～500 席程度
2. 最新技術紹介コーナー		
基礎小間	¥330,000	1.62 m ² （幅 1.8m×奥行 0.9m×高さ 2.4m）
スペース小間	¥275,000	3.24 m ² （幅 1.8m×奥行 1.8m）
一般書籍展示	¥22,000	1.08 m ² （幅 1.8m×奥行 0.6m）
3. 広告		
ポケットプログラム（表 4）	¥330,000	
ポケットプログラム（表 2）	¥275,000	
ポケットプログラム（表 3）	¥220,000	
ポケットプログラム（後付 1 頁）	¥165,000	
ポケットプログラム（後付 1/2 頁）	¥110,000	
抄録アプリ	¥550,000	
総会ホームページバナー	¥330,000	
スクリーン広告（2 日間）	¥440,000	*静止画
スクリーン広告（1 日間）	¥275,000	*静止画

2. 申込方法

第 62 回日本肝臓学会総会 HP の「企業の皆さまへ」に記載の各種お申し込みフォームよりお申し込みください。

URL：https://www.congre.co.jp/jsh62/

（2025 年 6 月開設予定）

特別協賛

1. 内容

共催セミナーと付設展示会のパッケージ協賛とします。

- ・ 募集枠：4 枠
- ・ 協賛費：9,900,000 円（税込）

2. 協賛費に含まれるもの

- ・ 共催セミナー（LS-A タイプ）の共催
- ・ 付設展示（スペース 10 小間）の出展

※ 各共催・出展料に含まれるものについて、各要項(P.7～12)に記載しておりますので、ご確認ください。

3. 協賛特典

- ・ 本総会ホームページへの貴社ロゴの掲載
- ・ 総会参加証 5 枚
- ・ セミナーのテーマ、司会、演者の優先

※ セミナーのテーマについては、学会プログラムとの調整および重複を回避するために、お申込の際に、運営事務局にご連絡いただけますと幸いです。

なお、司会・演者の出演交渉は協賛各社様にてご対応をお願いいたします。

4. 申込締切

2025 年 11 月 28 日（金）

※ 枠に空きがあれば締切後の申込みも状況により受け付けますが、その場合の開催枠は、締切までにお申込み頂いた企業の枠を決定後、空いた枠の中から決定いたします。

5. 協賛申込の取消

2025 年 11 月 28 日（金）以降の取り消しおよび協賛費の返金については、一切お受けできませんので予めご了承下さい。また、自然災害、火災、疫病、戦争、テロ、輸送機関の運行障害、停電、ネットワーク設備の損壊、行政機関の要請・指示・命令・規制など、主催者の責によらない事由により、主催者が催事開催を制限・停止、もしくは開催形態を変更することとした場合、催事に関する出展料を返金しない場合があります。

共催セミナー

1. 名称

第 62 回日本肝臓学会総会 共催セミナー

2. 主催

第 62 回日本肝臓学会総会

会長 寺井 崇二（新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科分野 教授）

3. 開催日

ランチョンセミナー 2026 年 6 月 18 日（木）、19 日（金）の 2 日間

イブニングセミナー 2026 年 6 月 18 日（木）

モーニングセミナー 2026 年 6 月 19 日（金）

スポンサードシンポジウム 2026 年 6 月 18 日（木）、19 日（金）の 2 日間

4. 時間

ランチョンセミナー 昼の時間帯の約 50 分間（予定）

イブニングセミナー 夕方の時間帯の約 50 分間（予定）

モーニングセミナー 朝の時間帯の約 50 分間（予定）

スポンサードシンポジウム 会期中午前または午後の 90 分間（予定）

5. 会場

※各使用会場については、プログラム内容等を考慮の上、事務局にて決定いたします。

6. プログラム

1) ランチョンセミナー・イブニングセミナー・モーニングセミナー

プログラム内容については各企業のご希望をいただき、学会プログラムと調整、ご相談の上、決定させていただきます。

2) スポンサードシンポジウム

プログラム内容については企業と学会で協議の上、決定させていただきます。

7. 発表形式

PC によるコンピュータープレゼンテーションになります。

8. 共催費（全て消費税 10%込）

種類	タイプ	席数（シアター）	共催費	募集枠
ランチョンセミナー	A	500～1,000 席程度	¥7,150,000	特別協賛
	B	200～300 席程度	¥3,300,000	10 枠
	C	100～150 席程度	¥2,750,000	10 枠
イブニングセミナー	B	200～500 席程度	¥2,750,000	2 枠
	C	100～150 席程度	¥2,420,000	4 枠
モーニングセミナー	B	200～500 席程度	¥2,750,000	2 枠
	C	100～150 席程度	¥2,420,000	4 枠
スポンサードシンポジウム	C	200～500 席程度	¥3,300,000	要相談

※ 感染対策、開催形式により席数に変更となる場合がございますので、ご了承ください。

※ 共催費には以下の項目が含まれます。

- (1) 会場費
- (2) 会場付帯設備費（机、いす、ステージ、音響設備、照明など）
- (3) 会場付帯機材費（スクリーン等の学会手配の機材）
- (4) 会場機材オペレーター（1 名）
- (5) 各種文具

※ 以下の費用は上記共催費には含まれていません。

- (1) 司会／座長／演者への謝金、旅費（貴社規定による）
- (2) 控室室料
- (3) 控室での接遇飲食費・機材費
- (4) 参加者への昼食弁当、コーヒー等飲食費
- (5) 運営費用（運営スタッフ等人件費／学会手配以外の追加機材／看板装飾費他）
- (6) ポスター／チラシ等印刷製作物
- (7) 会場設営変更費
- (8) 同時通訳機材／通訳者手配費

9. 注意事項

- (1) 複数企業との共同開催や、複数日程の開催も可能です。
- (2) プログラム内容（テーマ、座長、演者等）については各企業のご希望をいただき、学会総会プログラムと調整、ご相談のうえ、決定させていただきます。
貴社のご要望に添えない場合がございますので、予めご了承ください。
（決定までは、座長、演者の先生へのコンタクトは控えてください）
- (3) 座長・演者の先生とのコンタクトに関して、講演依頼は各社で行ってください。

- (4) プログラムへの掲載について
共催学術セミナーのテーマ、座長、演者はプログラムに掲載いたします。
テーマ等が決定次第、運営事務局までご連絡ください。
- (5) ポスター、チラシの作成について
1) 作成部数は各社裁量でお願いします。
運営事務局で原稿確認を行います。(印刷前の原稿で可)
2) ロゴマークの使用(使用を統一します)。
3) 当日配布
・参加受付付近に資料デスクを設置いたします。
・体裁は A4 縦使用でサイズを統一させていただきます。
- (6) 看板・装飾関係に関して
・各セミナー会場前の看板は各社統一デザインとさせていただきます。
・セミナー用の誘導看板は、原則として設置いたしません。
- (7) 記録に関して
・ビデオ収録・録音の有無は会場設営の都合上、運営事務局までご連絡ください。

10. 申込方法

学会総会 HP の「企業の皆さまへ」に記載の各種お申し込みフォームより
お申し込みください。

- * 予定セミナー数に達した時点で、締め切りとさせていただきます。
- * 日程・時間・会場等の詳細が決定次第、改めてご案内いたします。

11. 申込締切日

2025 年 11 月 28 日 (金)

12. 共催費のお支払い

セミナー開催枠確定後、ご請求書をお送りしますので、1 ヶ月以内に指定口座(請求書に記載)
までお振込みください。

13. 共催申込の取り消し

やむを得ない事情により学会会期、開場時間、会場、開催形態(オンライン開催等)を変更し、
協賛者との調整の上、協賛内容を変更することがあります。この変更を理由としたお申し込みの
取消はできません。

付設展示会

1. 出展対象

医療機器、医療用具、医薬品、検査機器、試薬、書籍他

2. 出展料金（全て消費税 10%込）

種類	単位	小間サイズ	出展料
基礎小間	1 小間～	1.62 m ² （幅 1.8m×奥行 0.9m×高さ 2.4m）	¥330,000
スペース小間	4 小間～ （1 小間単位）	3.24 m ² （幅 1.8m×奥行 1.8m）	¥275,000
一般書籍販売展示	1 テーブル	1.08 m ² （幅 1.8m×奥行 0.45m）	¥22,000

※スペース小間のお申し込みは **4 小間以上**とさせていただきます。

※スペース小間にてお申し込みの場合、床面に墨出しの上お引渡しします。

その場合、バックパネル、社名板等の備品は設置されません。

3. 基礎 / スペース小間の募集小間数（予定）

40 小間（予定）

4. 書籍展示の募集テーブル数

テーブル 20 本（予定）

5. 展示会場

朱鷺メッセ 1F 展示ホール（予定）

6. 展示小間割の決定

総会事務局にて決定します。

7. 出展物 / 外国出展物

出展対象に記載された範囲のもの、及び当方の認めたものとします。また、展示会場は保税展示場にはいたしません。海外からの出展物は、国内貨物として出展するか、または、ATA カルネの制度をご利用ください。詳細は、運営事務局にお問い合わせください。

8. 薬機法未承認品の展示について

運営事務局にお問い合わせください。

9. 出展者へのご案内

出展者説明会はいりません。開催の約 2 カ月前に小間割、搬入、装飾、管理などについて詳細をご連絡します。什器・照明器具などのリースもこの時にご案内します。

10. 出展物の販売の禁止

一般書籍販売以外での会期中現金と引き換えに出展物を引き渡すことは禁止します。
但し、当方の認めたものは、限定的に許可する場合があります。

11. 会場の管理

会場及び出展物の保全については、最善の保護と管理にあたりますが、天災、その他の不可抗力による事故、盗難、紛失、及び小間内における人的災害の発生については責任を負いません。

12. 開場時間の変更

やむを得ない事情により開場時間を変更する場合があります。この変更を理由として出展申し込みを取り消すことは出来ません。またこれによって生じた損害は補償しません。

13. 本会議への参加資格について

出展者に対しては第 62 回日本肝臓学会総会の講演会場及び関連プログラムへの参加資格はありません。会議プログラムに参加希望の方は別途総会への参加登録をお願いします。
但し、展示会場内への出展者の入場制限はありません。

14. 申込締切日

2026 年 1 月 30 日（金）

※但し、募集小間数に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承ください。

15. 出展料のお支払い

申込締切後、ご請求書をお送りしますので、指定口座（請求書に記載）までお振込みください。

16. 出展申し込みの取り消し

申込日以降の取り消しについては、キャンセル料が発生いたします。

17. 出展申し込みの取消に伴うキャンセル料

やむを得ない事情により学会会期、開場時間、会場、開催形態（オンライン開催等）を変更し、協賛者との調整の上、協賛内容を変更することがあります。この変更を理由としたお申し込みの取消はできません。

出展申し込み後、やむをえない事情により取り消しをされる場合は、以下の通り規定の取り消し手数料を申し受けることがございますので、予めご了承ください。

- ・ 申込日以降のキャンセルの場合：出展料の 50%
- ・ 2026 年 1 月 30 日（金）以降のキャンセルの場合：出展料の 100%

■ 設置概要

- ・ 搬入（予定） 2026 年 6 月 17 日（水）午後（予定）
- ・ 搬出・撤去（予定） 2026 年 6 月 19 日（金）プログラム終了後

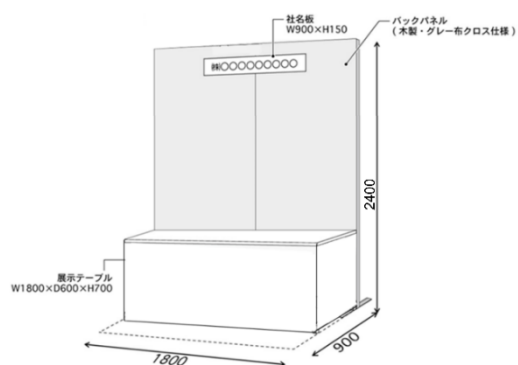
■ 小間規格

基礎小間（パッケージブース）

1 小間＝幅 1.8m×奥行 0.9m×高さ 2.4m

- ・ 間仕切の後壁
- ・ 社名板
- ・ 展示台 1 台（間口 1.8m×奥行 0.9m）白布付き（但し商品の上にかけるクロスはご持参下さい）

以上の物は当方で設置します。上記以外の小間内装飾は出展者が行ってください。



-基礎小間基本姿図案-

※社名のロゴ等必要な場合はご指示ください。（有料）

※基礎小間使用は現状の想定であり、設営の都合上、変更になる場合がございます。変更の際には、お申し込みいただいている出展者様に連絡いたします。予めご了承ください。

スペース小間渡し（スペース渡し）

1 小間＝幅 1.8m×奥行 1.8m

スペース小間をお申し込みの場合、床面に墨だしを実施の上お引渡しします。

■ 装飾

装飾は、下記の時間内に完了してください。（搬入と同時進行となります）

2026 年 6 月 17 日（水） 11:00～17:00（予定）

■ 禁止事項

装飾物、展示物の高さについては、小間割り確定後に各社へご連絡いたします。

但し、やむを得ず越える場合、事務局の承認を必要とします。

また、床面への直接工作（ガムテープ、アンカー等）も原則的には禁止します。

■ 電気

詳細は別途ご連絡いたします。

■ 給排水

水、プロパンガス、圧縮空気の使用は、原則として禁止します。

広告：ポケットプログラム

1. 募集媒体

第 62 回日本肝臓学会総会 ポケットプログラム

2. 閲覧対象

第 62 回日本肝臓学会総会 参加者

3. 発行日

当日配布（予定）

4. 発行部数

5,000 部（予定）

5. サイズ

B5（予定）

6. 媒体作成費

¥6,600,000（消費税 10%込）

7. 広告料総額

¥1,925,000（消費税 10%込）

8. 広告料（消費税 10%込）

種類	広告料	枠数
表 4	¥330,000	1 枠
表 2	¥275,000	1 枠
表 3	¥220,000	1 枠
後付 1 頁	¥165,000	4 枠
後付け 1/2 頁	¥110,000	4 枠

9. 提出方法

データでご用意いただき、運営事務局までご送付ください。

※ データ入稿の場合は、必ず出力見本を添付してください。

※ 後付データは、モノクロまたはグレースケールで作成してください。

※ イラストレーターの場合は、アウトラインデータもご用意ください。

※ メディアは、CD-R 等にてご提供ください。

なお、ご提供いただいたデータは運営事務局が責任を持って適切に破棄いたします。

10. 申込締切日

2026年1月30日（金）

11. 原稿送付締切日

2026年2月27日（金）

12. 広告費のお支払い

申込締切後、ご請求書をお送りしますので、指定口座（請求書に記載）までお振込みください。

13. 注意事項

掲載ページについては事務局にご一任ください。

広告内容に起因する名誉毀損の請求または訴訟、プライバシー・著作権の侵害およびその他の請求・訴訟に関して、事務局は責任を負いかねますのでご了承ください。

広告：抄録アプリ

1. 募集媒体

第 62 回日本肝臓学会総会 抄録アプリ（公式アプリケーションソフトウェア）

対応 OS：iOS、Android(スマートフォン、タブレット端末)

2. 閲覧対象

第 62 回日本肝臓学会総会 参加者

3. 配信開始日

2026 年 5 月下旬（予定）

※ユーザーがアプリをダウンロード後は、
ユーザーの端末から本アプリが削除されるまで
ロゴは残ります。

4. 媒体作成費

¥3,300,000（消費税 10%込）

5. 広告料金総額

¥2,200,000（消費税 10%込）

6. 広告料

¥550,000（消費税 10%込）

7. 募集枠

4 枠

8. 画像形式

PNG 形式または JPG 形式

3 種類の画像（スマートフォン用/タブレット用：縦向き用/横向き用）をご支給ください。

- 1) 縦 233 × 横 1203 ピクセル（スマートフォン用）
- 2) 縦 280 × 横 1516 ピクセル（タブレット用：縦向き用）
- 3) 縦 280 × 横 1005 ピクセル（タブレット用：横向き用）

9. 申込締切日

2026 年 1 月 30 日（金）



Home 画面の画面下
（上記図内の枠囲み位置）に表示
※WEB リンクの設定が可能です

10. 原稿（データ）送付締切日
2026 年 2 月 27 日（金）

11. 原稿送付先
運営事務局まで E-mail にてお送りください。

12. 広告費のお支払い
申込締切後、ご請求書をお送りしますので、指定口座（請求書に記載）までお振込みください。

13. 注意事項
掲載ページについては事務局にご一任ください。
広告内容に起因する名誉毀損の請求または訴訟、プライバシー・著作権の侵害およびその他の請求・訴訟に関して、事務局は責任を負いかねますのでご了承ください。

広告：総会ホームページバナー

1. 募集媒体

第 62 回日本肝臓学会総会 ホームページ

2. 掲載ページ

トップページ（掲載箇所につきましては事務局一任とさせていただきます）

3. 掲載要領

U R L : <https://www.congre.co.jp/jsh62/>

閲 覧 対 象 : 日本肝臓学会会員 他

主 要 コ ン テ ン ツ : 開催概要、プログラム、演題募集、参加者へのご案内 等（予定）

4. 掲載期間

申込月～2026 年 6 月末日（随時更新）

5. 広告料

¥220,000（消費税 10%込）

6. 募集枠

4 枠

7. バナーサイズ

申込後にご連絡いたします。

※ 一般的な画像形式には対応可能です。特殊な画像形式をご使用になる場合、ローテーション掲載（アニメーション）をご希望になる場合には、お問い合わせください。

8. 申込締切日

2026 年 1 月 30 日（金）

9. 広告費のお支払い

申込締切後、ご請求書をお送りしますので、指定口座（請求書に記載）までお振込みください。

10. 注意事項

掲載箇所については事務局にご一任ください。

広告内容に起因する名誉毀損の請求または訴訟、プライバシー・著作権の侵害およびその他の請求・訴訟に関して、事務局は責任を負いかねますのでご了承ください。

広告：スクリーン幕間広告（静止画）

1. 媒体名

スクリーン幕間広告（静止画）

2. 投影場所

各講演会場

3. 募集内容

講演会場での休憩中にスクリーンへの社名・ロゴ映写（商品名の掲載も可能です）

4. 対象

第 62 回日本肝臓学会総会 参加者

5. 広告掲載料金（全て消費税 10%込）

種類	広告料
2 日間	¥440,000
1 日間	¥275,000

※1 日間の場合、掲載日は各社とご相談の上決定いたします。

6. 提出方法

お申し込みを頂いた後に後日ご連絡いたします。

7. 申込締切日

2026 年 1 月 30 日（金）

8. 広告費のお支払い

申込締め切り後、ご請求書をお送りしますので、指定口座（請求書に記載）までお振込みください。

